

中村太地 × 佐藤卓史 辻本玲 ピアノトリオの夕べ

2020
10/25(日)

会場 長崎市民会館
文化ホール

開場 15:00 / 開演 16:00
終演予定 17:30

ピアノ
佐藤卓史

ブラームス国際コンクール
ヴァイオリン部門 日本人初優勝
ヴァイオリン
中村太地

チェロ
辻本玲

Program

ラフマニノフ / ヴォカリーズ
クライスラー / 古典舞曲集より
愛の喜び、愛の悲しみ、美しきロスマリン
ヘンデル=ハルヴェルセン / パッサカリア
ブラームス / ピアノ三重奏曲第3番 op.101
ベートーヴェン / ピアノ三重奏曲第7番「大公」op.97

料金 (全席自由)

一般 3,000円
小中高生 1,000円

チケット取り扱い

絃洋会楽器店 095-821-2326

くさの書店 095-857-2560
(西友道の尾店)

主催・お問合せ

中村太地コンサート実行委員会 (長崎自動車株、長崎県)
長崎自動車株式会社 総務部内
住所 / 長崎市新地町3-17 電話 / 095-826-1177

特別協賛 / 公益財団法人長崎バス観光開発振興基金

後援 / 長崎市、長崎新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NBC長崎放送、
KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、エフエム長崎、
株式会社長崎ケーブルメディア

PROFILE



中村 太地 Daichi Nakamura
ヴァイオリン



辻本 玲 Rei Tsujimoto
チェロ



佐藤 卓史 Takashi Sato
ピアノ

福岡県立小倉高等学校卒業。

2004年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールにて最年少ファイナリスト。

ブルガリアのシメオノヴァ国際コンクール優勝後に審査委員長A.スタンコフ氏にその才能を認められ、直後にソフィアフィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を共演し、ヨーロッパデビューを果たす。

2017年ブラームス国際コンクールヴァイオリン部門で日本人初の優勝を果たすなど、ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、リビッツァー国際コンクール、クライスラー国際コンクールなど権威ある国際コンクールにて多数入賞及び受賞している。

これまでにミヒャエル・フリッシェンシュラガー氏、オーギュスタン・デュメイ氏に師事。サンクトペテルブルク交響楽団、クラゲンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など国内外多数のオーケストラと共演。

フィンランド・クフモ室内楽音楽祭に毎年アーティストとして招かれるなど、ヨーロッパと日本を中心に活動中。

2018年より株式会社スターフライヤーとスポンサー契約を結んでいる。

使用楽器は1738年製ガッレネリ・デルジェス“ソフィー・ハース”を北山コーポレーション北山英樹氏より貸与される。

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業(アカンサス音楽賞受賞)後、シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。

2003年、第72回日本音楽コンクール第2位、併せて「聴衆賞」受賞。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。

2009年、第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)、併せて「日本人作品最優秀演奏賞」を受賞。

2011年3月から京都コンサートホールを皮切りに札幌コンサートホールkitara、名古屋宗次ホール、兵庫県立芸術文化センター、東京サントリーホールにて「デビュー・リサイタル・ツアー」を実施。以降毎年東京他でのリサイタルを開催。

2013年トッパンホールでのリサイタルは読売新聞の演奏会評にて「質実剛健な音、得難い逸材」と絶賛され、第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

2016年に別府アルゲリッチ音楽祭にてワディム・レーピンと共演するなど実力派チェリストとして高い評価を得ている。

2019年にソロCD『オブリヴィオン』をリリースし「レコード芸術」誌にて特選盤に選出。

メタ・ワッツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。

使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを貸与される。

1983年秋田市生まれ。

高校在学中の2001年、日本音楽コンクールで第1位。

東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。

2007年シューベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントゥ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位など受賞多数。

2013年、デビュー10周年を記念してソロリサイタルツアー「ベートーヴェン 4大ピアノソナタを弾く」を開催、全国16都市で演奏し好評を博す。

2014年より「佐藤卓史シューベルトツィクルス」を展開、ライフワークとしてシューベルトのピアノ曲全曲演奏に取り組んでいる。

指揮者ジョナサン・ノットの東京交響楽団音楽監督就任披露演奏会にてソリスト(ブラームス:ピアノ協奏曲第1番)に指名されたのははじめ、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、ベルギー国立管弦楽団など内外のオーケストラと多数共演。

レコーディング活動も活発に行っており、日本と欧州で20タイトルを超えるCDを発表、各紙誌で高く評価されている。

作編曲・室内楽・放送出演など幅広い分野で活躍中。

●公式ウェブサイト www.takashi-sato.jp

新型コロナウイルス感染症対策を
実施いたします。

- ・入場時に検温をお願いします。発熱・咳・体調不良の際のご来場はご遠慮ください
- ・アルコール消毒・手洗い・うがいのご協力をお願いします。
- ・マスクの着用をお願いします。また、咳エチケットにご協力ください。
- ・スタッフはマスク等で対応させていただきます。